

令和2年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察					
番号	質問	総合評価			考 察 S：優れている A：良好 B：概ね良好 C：取組の充実が必要 D：取組に課題がある
		生徒	保護者	教職員	
1	学校へ行くことが楽しい□ 生徒：学校へ行くことが楽しい	A	*	*	学校へ行くのが楽しいと肯定的な生徒が80%を超えています。一方で、否定的な生徒が16%程です。この現況を受け止めて、誰もが楽しいと思える魅力ある学校づくりに努めます。
2	清中に入学してよかった。□ 生徒：清中に入学してよかったと思う 保護者：子どもが清中に入学してよかったと思う	A	S	*	90%程の肯定的な回答です。全ての保護者及び生徒に楽しさが実感できる教育活動の実践に努めます。
3	学校行事は有意義なものになる 生徒：学校行事を充実させたい 保護者：学校行事を工夫することで有意義なものになる 教職員：学校行事が生徒にとって価値ある体験となっている	A	S	S	行事の意義や目的の共通認識を図り、様々な課題とも向き合い持続可能な行事運営に努めます。
4	朝の読書の時間について 生徒：朝読書の時間は、有意義な時間だと思う 保護者：子どもにとって朝読書の時間は有意義なものとなっている 教職員：朝読書の時間は生徒にとって充実したものとなっている	B	A	S	生徒が自主的に読書できる雰囲気づくりと共に読書活動の意義を理解し充実した時間となるよう継続していきます。
5	考査前学習会は有意義である 生徒：考査前のあれば、有意義な時間にしたいと思う 保護者：子どもにとって考査前学習会などの機会があれば有意義なものになる 教職員：考査前の学習会は必要であり生徒にとって充実したものになる	B	S	D	学力向上に向けた継続的な取り組みが重要であると認識しています。効果的な方法を検討します。
6	週末課題「視写」は有意義である 生徒：週末課題「視写」は有意義な取組だと思う 保護者：週末課題「視写」は有意義なものとなっている 教職員：週末課題「視写」は充実したものとなっている	D	C	D	学習習慣の確立や学習意欲の醸成に効果を期待しています。現状を踏まえ課題と成果を整理し検討します。
7	わかりやすい授業を行っている 生徒：先生はわかりやすい授業をしてくれている 保護者：先生は、わかりやすい授業をおこなっている 教職員：生徒にとってわかる授業を実践している	A	A	S	「授業がわかる」と「学校が楽しい」には相関関係があります。全ての生徒が活躍できる授業づくりに今後も取り組んでいきます。
8	学習に関する質問に丁寧に答えている 生徒：先生は、学習に関する質問に丁寧に答えてくれる 教職員：学習に関する生徒の質問に丁寧に答えている	S	*	S	日頃の関わりから生徒と教職員の信頼関係を構築してる。引き続き、気軽に質問ができる関係づくりに努めます。
9	生徒の学習成果を適切に評価している 生徒：先生は、学習の評価を適切にしてくれている 保護者：先生は、子どもの学習成果を適切に評価している 教職員：生徒の学力や学習到達度を適切に評価している	S	S	S	指導や評価方法について肯定的な回答が多く、一定の理解が得られています。今後も学習成果を適切に評価し、生徒の学ぶ意欲に繋げられるよう努めます。
10	学校のきまりや社会のルールを守る 生徒：学校のきまりや社会のマナーを守って生活している 保護者：清中生は、学校のきまりや社会のルールを守って生活している 教職員：社会のルールやマナーが身に付くよう指導している	S	S	S	社会のマナーや集団のルールを意識して学校生活をしている様子が見られます。時々、通学時のマナーについて地域の方などからご指摘を頂くことがあります。油断することなく気を付けていきます。
11	いじめのない学校にする努力をしている 生徒：先生は、いじめのない学校にしようと努力してくれている 保護者：先生は、いじめのない学校づくりに努力をしている 教職員：暴力やいじめのない学校や学級づくりに努めている。	S	A	S	10%程の生徒や保護者は不安を感じています。いじめアンケート調査に頼らず日頃の生徒との関わりを大切に、いじめが起こらない学校づくりに努めます。

令和2年度 生徒・保護者・教職員 総合評価と考察					
番号	質 問	総合評価			考 察 S：優れている A：良好 B：概ね良好 C：取組の充実が必要 D：取組に課題がある
		生徒	保護者	教職員	
12	先生は生徒をよく理解している	A	A	S	生徒・保護者共に肯定的な回答となりました。生徒や保護者の声に耳を傾け生徒理解に努めます。
	生徒：先生は、あなたのことをよく理解してくれている 保護者：先生は、子どものことをよく理解してくれている 教職員：生徒一人一人を理解し大切にされた教育活動を行っている				
13	災害や不審者に対する備えについて	S	*	B	常に危機管理意識を教職員が持ち生徒に周知していきます。防災教育を視野に入れた心の教育など命の大切さや人権意識の向上に努めます。
	生徒：毎日、安全に登校するよう心がけている 教職員：災害時や緊急時の避難行動について適切に指導している				
14	教え方を工夫している	S	*	A	知識や技能の向上を目指し学び続ける教職員の姿勢を大切にして、全ての生徒が「授業が楽しい」と思える授業づくりに努めます。
	生徒：教え方を工夫してくれていると思う 教職員：授業研究を通じて授業方法の改善に取り組んでいる				
15	自分の健康について	S	*	S	生徒の自己管理意識を高める為に、養護教諭による指導や教科及び学級指導など横断的指導体制を継続していきます。
	生徒：自分自身、健康で安全な日常生活が送れるよう気をつけている 教職員：生徒が自分の健康管理を心がけるよう指導している				
16	清掃活動への取り組みについて	S	S	S	公共物を大切に、落ち着いた学習環境を自分たちでつくることにより、安定した学校生活が維持できます。生徒会活動を中心に継続していきます。
	生徒：学校を美しくするために、しっかりと清掃活動に取り組んでいる 保護者：美しい学校環境を保つために清掃活動に取り組んでいる 教職員：生徒の清掃活動を適切に指導している。				
17	生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる	*	A	S	生徒の心身の変化に気づき、適切な支援や指導をする為には、学校と家庭の連携協力が重要です。学校と家庭の両面で生徒を支えられるよう努めます。
	保護者：先生は、生徒や保護者が困っているとき真剣に相談にのってくれる 教職員：生徒や保護者が困っているときは素早く相談にのっている				
18	系統的な進路指導を適切に行っている	*	A	S	進路指導は「生き方の指導」と捉え、教育活動全体を通して系統的に取り組めます。
	保護者：学校は職業観や勤労観を培うなど、進路指導を適切に行っている。 教職員：3年間を通じた系統的な進路指導を行っている				
19	学校は健康と安全に配慮している	*	S	*	生徒が心身ともに健やかに育つことを願って、保護者の協力と理解を得ると共に生徒が安心して学校生活が過ごせるよう健康と安全配慮に努めます。
	保護者：学校は、子どもが安心して学校生活を送れるよう健康と安全に配慮している				
20	教育方針や教育活動の意義を適切に知らせている	*	S	*	学校教育活動が生徒の望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め仲間を大切に協力し、より良い学校生活が築けるよう家庭や地域などへの情報発信に努めます。
	保護者：学校は、教育方針や教育活動・行事の意義について適切に知らせている				
21	学校や子どもの様子をよく伝えている	*	S	S	様々な情報を保護者や地域に広く伝えることができるホームページの活用や通信などを通して、学校の様子をお知らせします。学校と家庭の信頼と協力関係の構築に努めます。